



2015年3月期 第2四半期
決算説明会
2014年11月17日

証券コード：9324 <http://www.yasuda-soko.co.jp/>

1. 環境認識

2. 2015年3月期 第2四半期(上期)の実績

3. 2015年3月期 通期の見通し

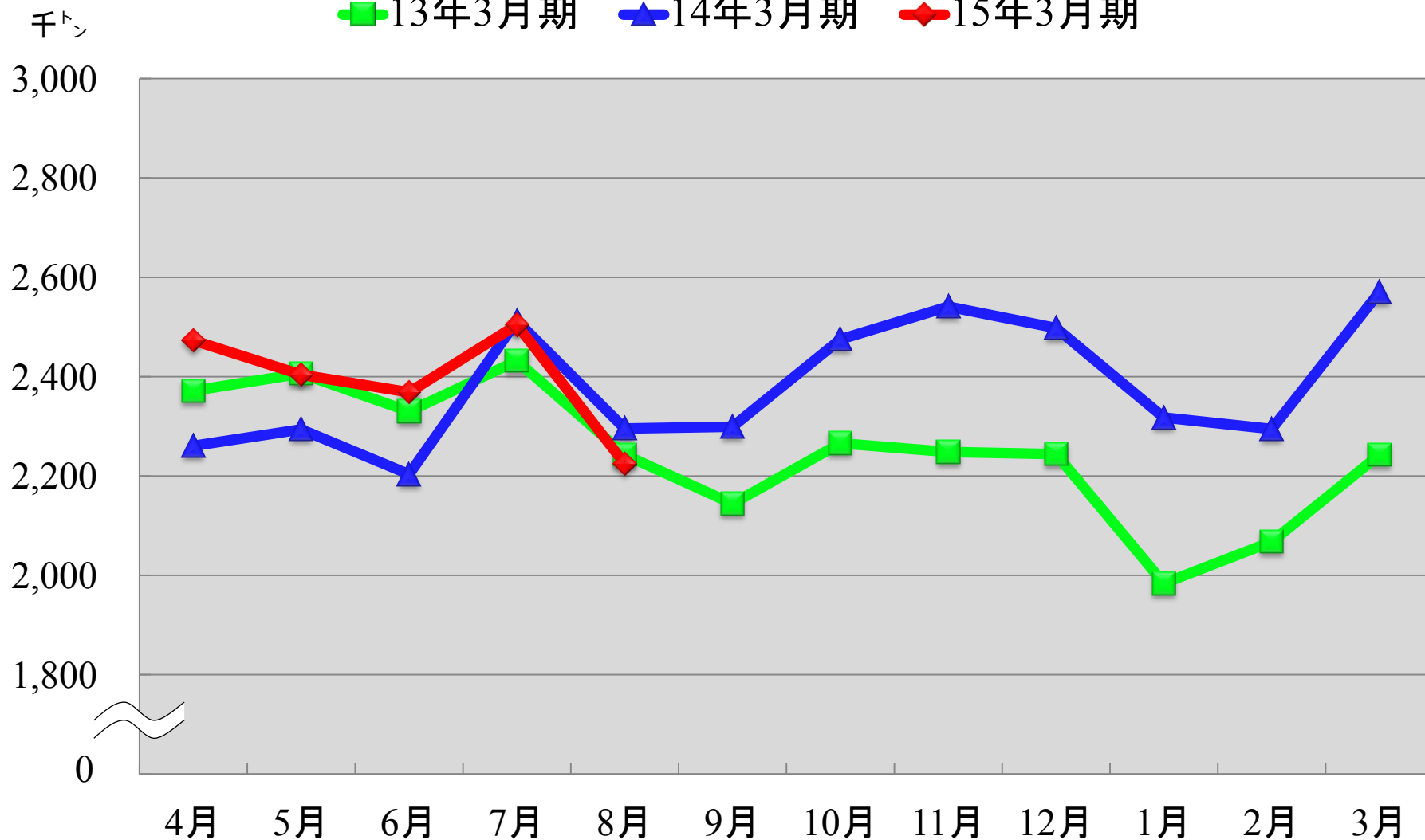
1. 環境認識

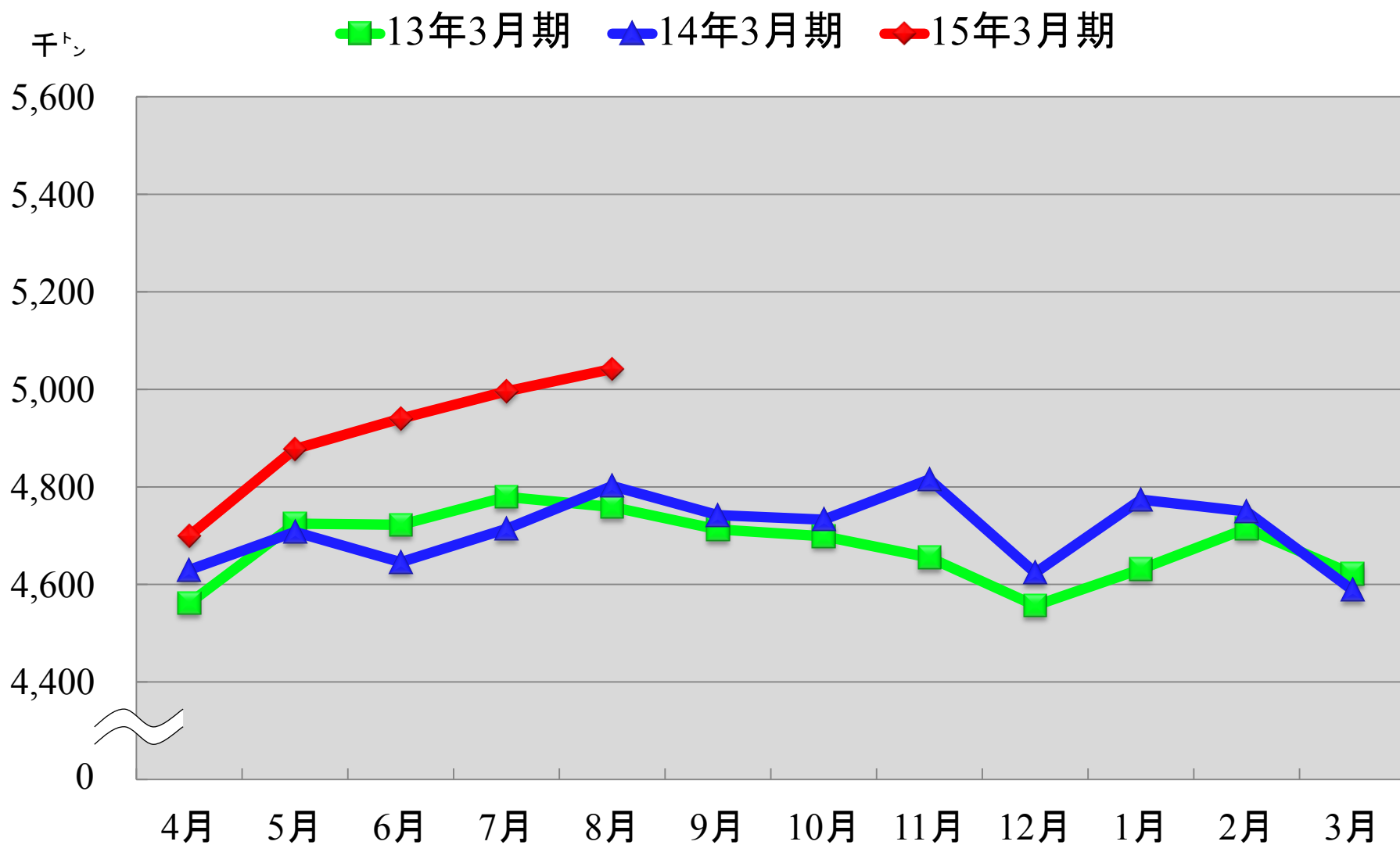
Below the section header, there are two horizontal bars. The top bar is blue and the bottom bar is gray, both spanning most of the width of the slide.

普通倉庫21社統計 入庫高

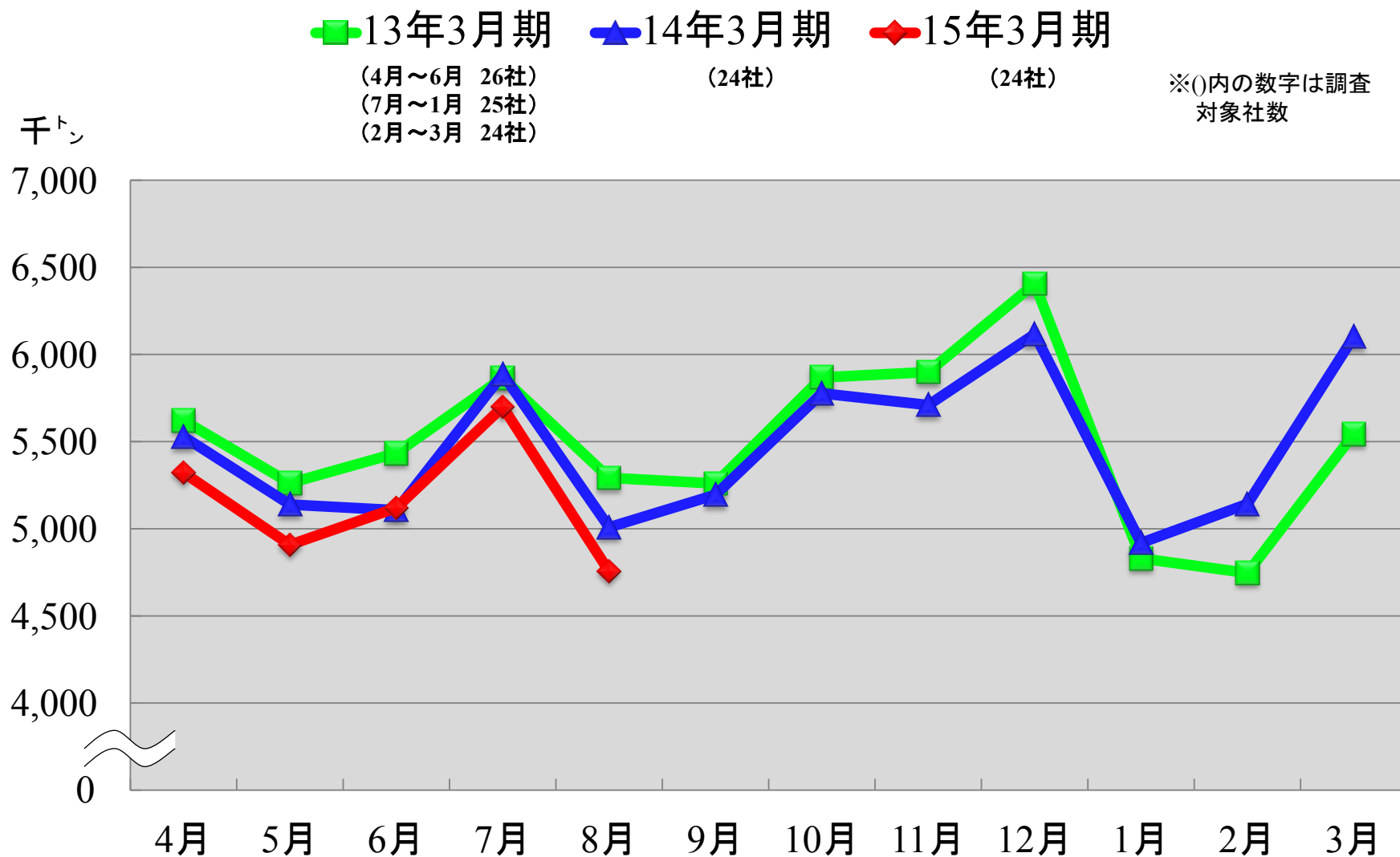


■ 13年3月期 ▲ 14年3月期 ◆ 15年3月期

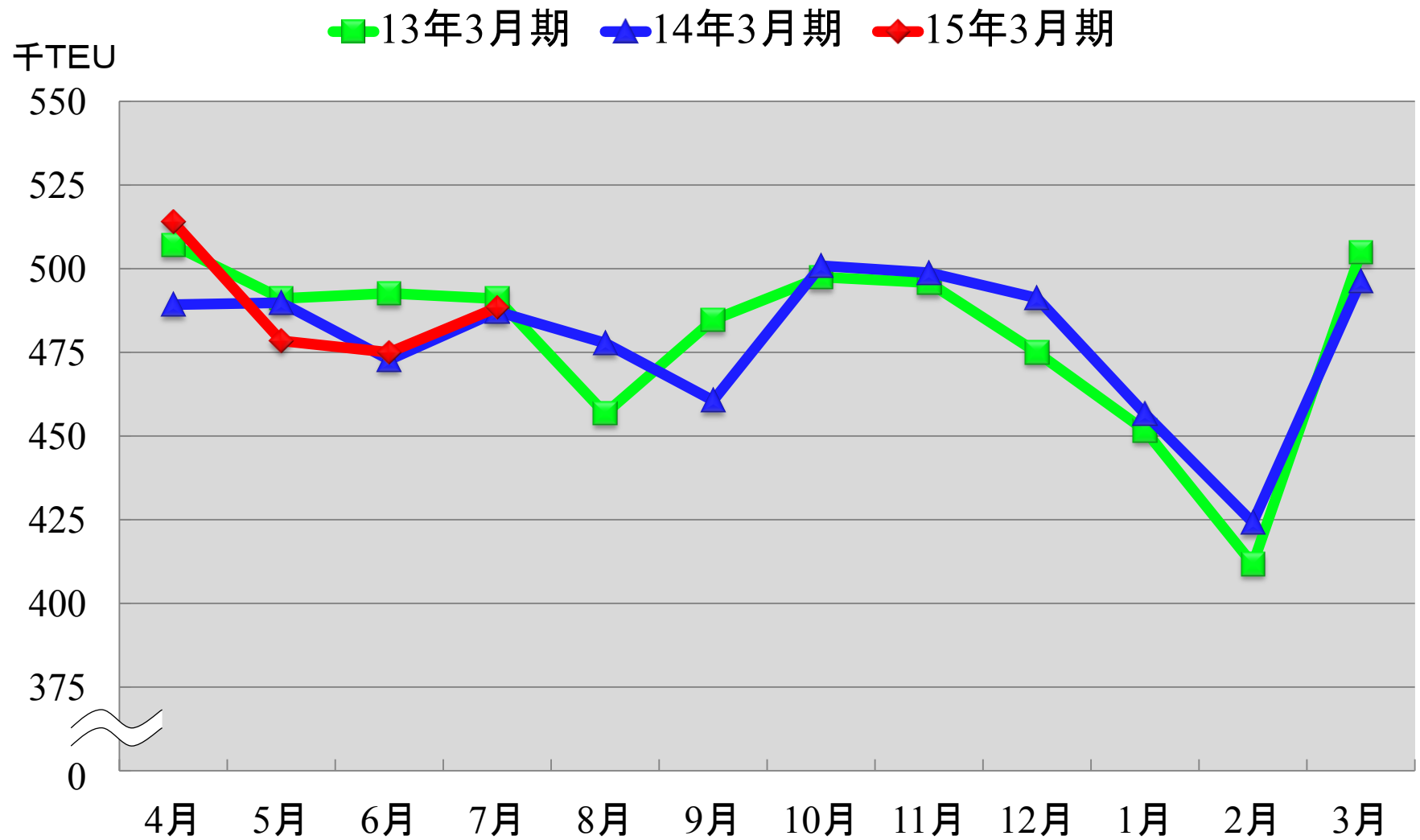




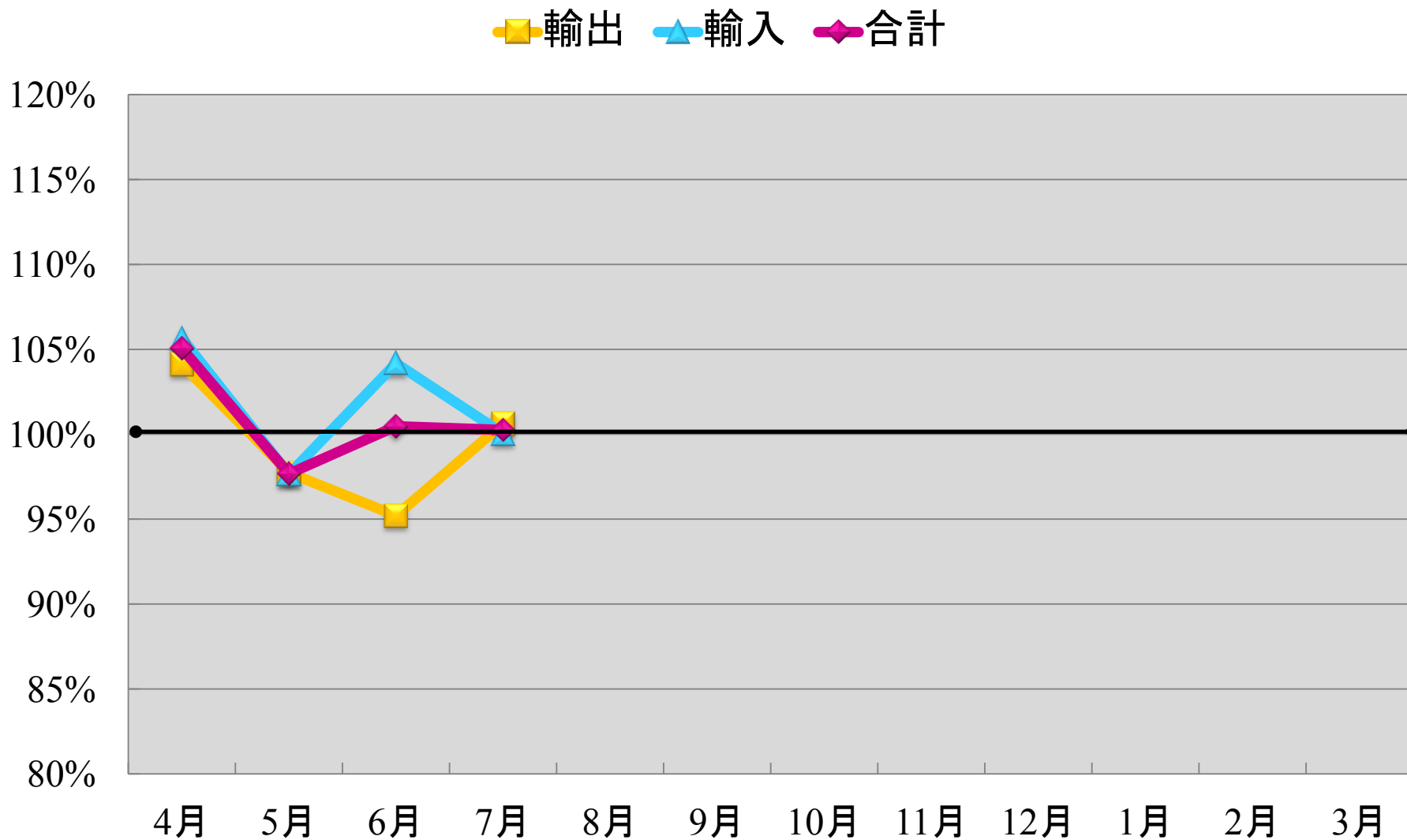
特積貨物輸送トン数



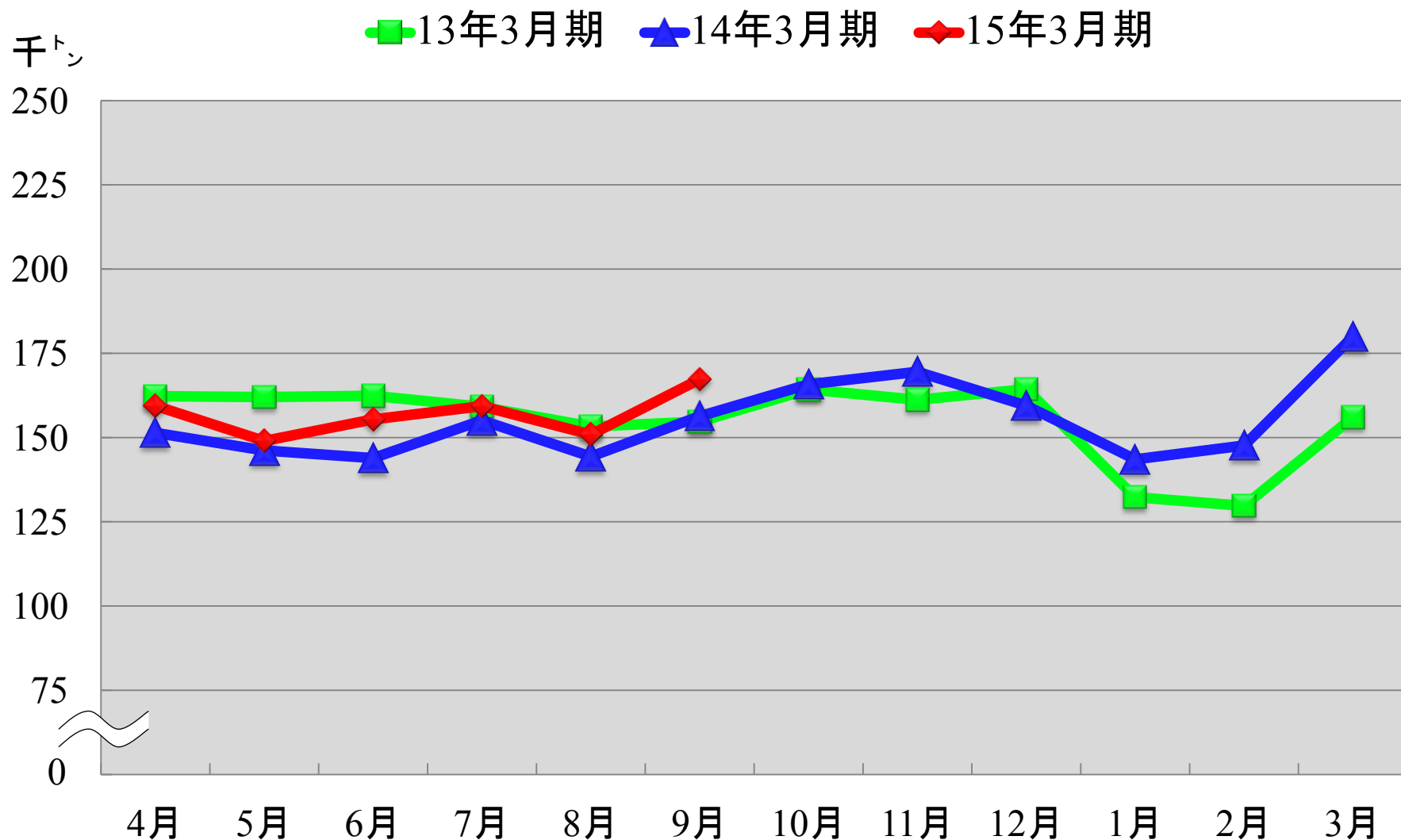
コンテナ取扱本数(京浜港)輸出入合計



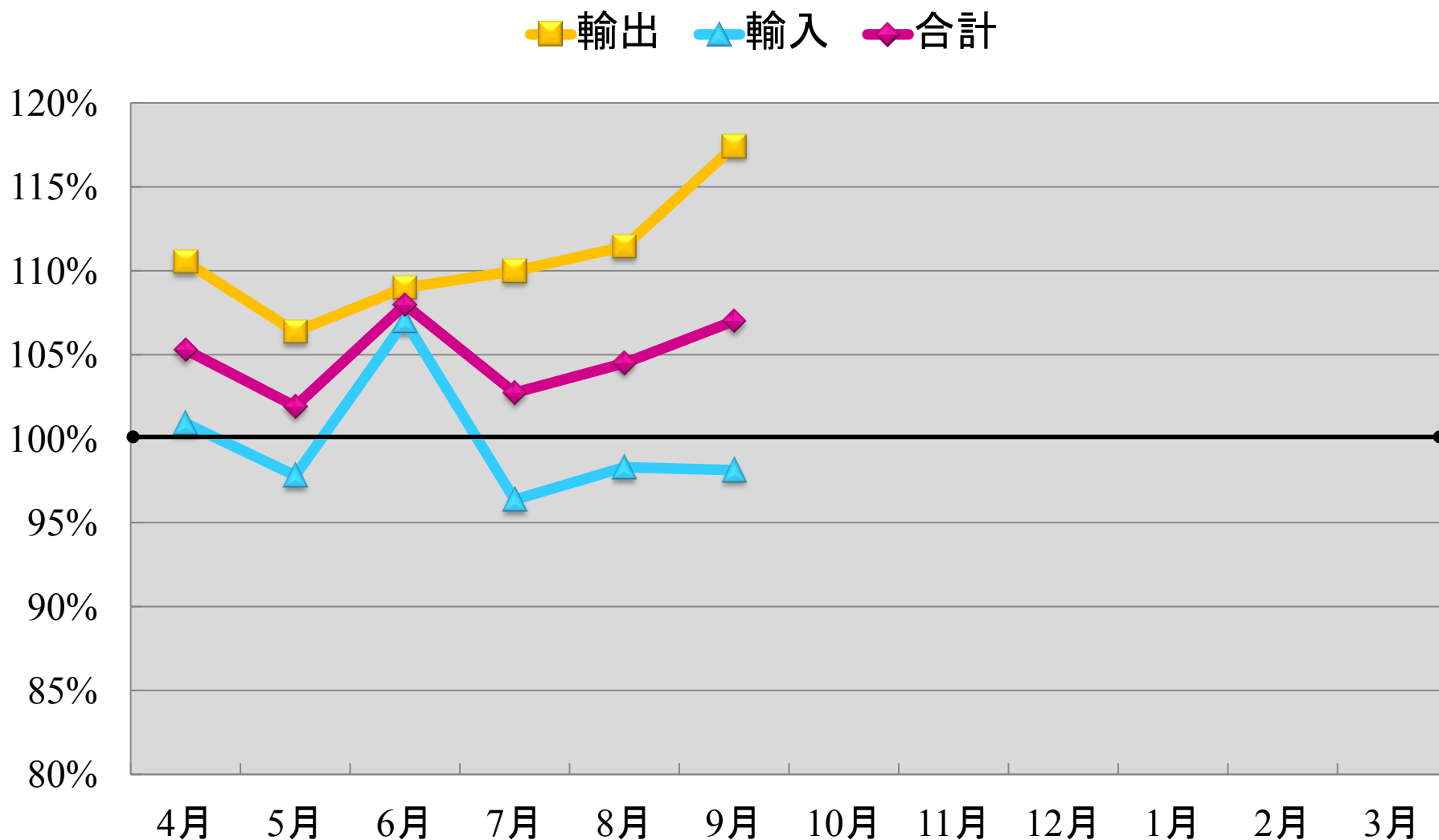
コンテナ取扱本数(京浜港)前年同月比

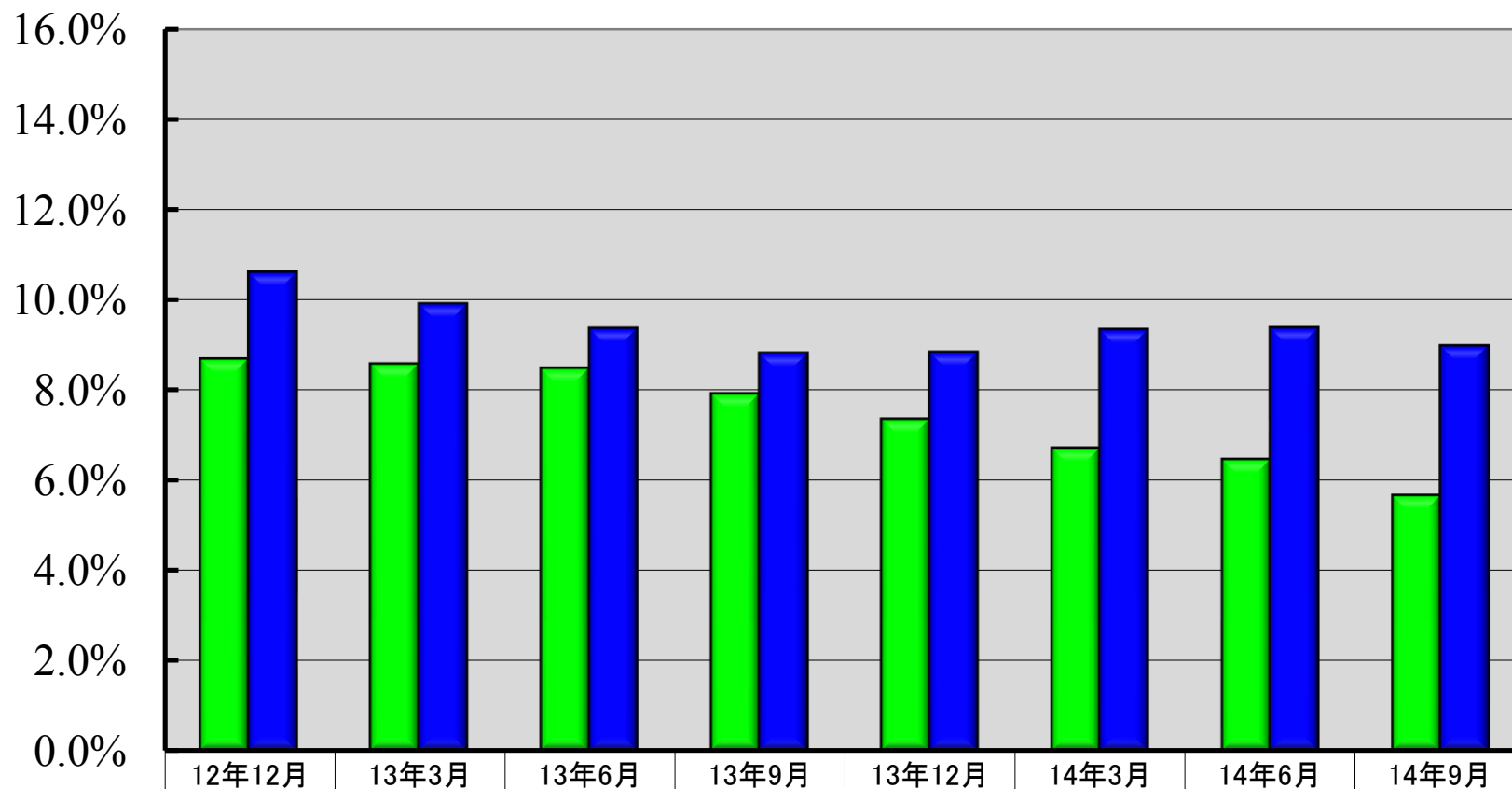


国際航空貨物取扱量 輸出入合計



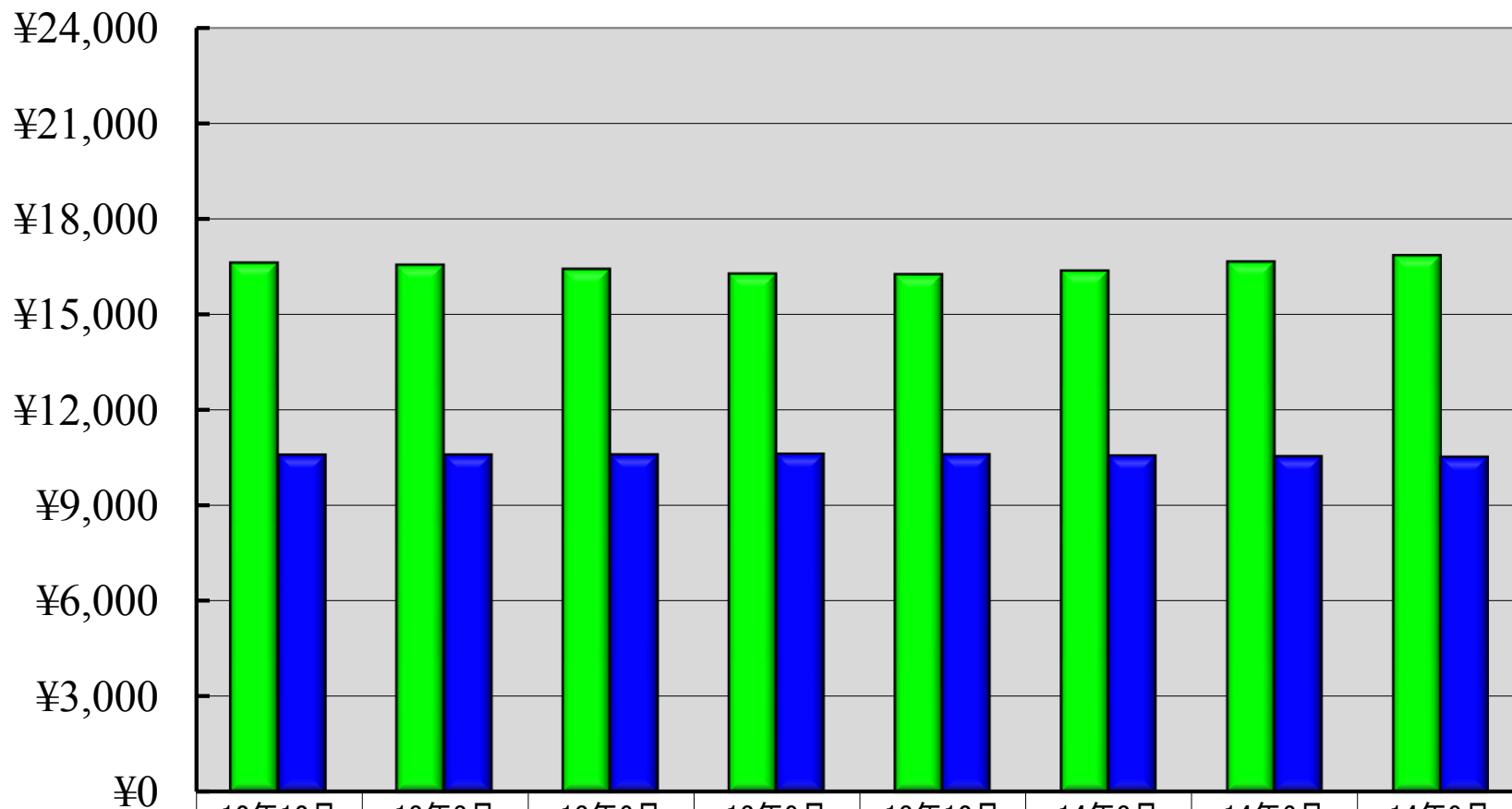
国際航空貨物取扱量 前年同月比





東京ビジネス地区	8.7%	8.6%	8.5%	7.9%	7.3%	6.7%	6.5%	5.7%
横浜ビジネス地区	10.6%	9.9%	9.4%	8.8%	8.8%	9.3%	9.4%	9.0%

募集賃料相場(円／坪)



	12年12月	13年3月	13年6月	13年9月	13年12月	14年3月	14年6月	14年9月
東京ビジネス地区	¥16,572	¥16,504	¥16,377	¥16,230	¥16,207	¥16,325	¥16,607	¥16,805
横浜ビジネス地区	¥10,540	¥10,544	¥10,546	¥10,564	¥10,553	¥10,513	¥10,491	¥10,471

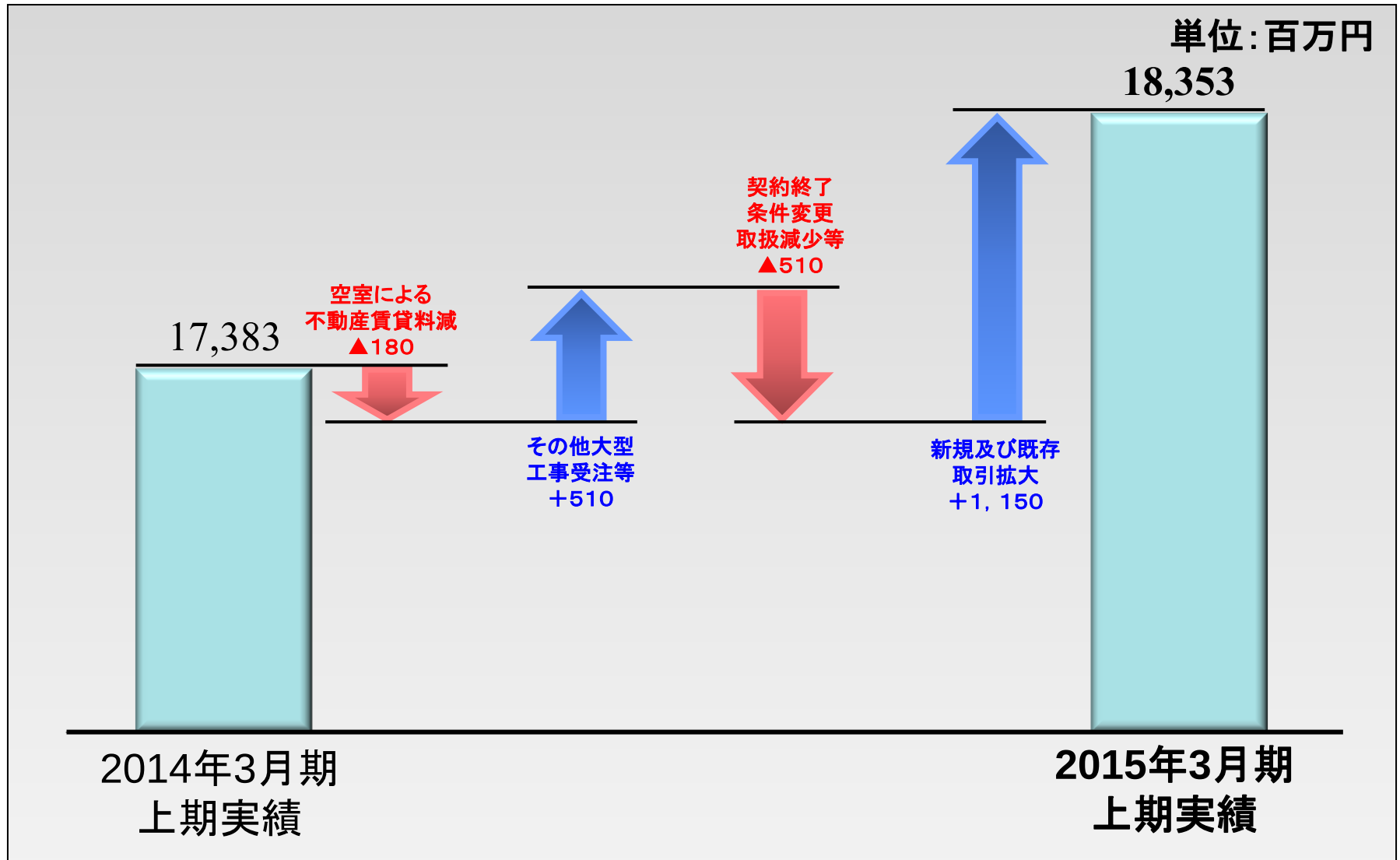
2. 2015年3月期 第2四半期(上期)の実績

A decorative horizontal bar is positioned below the section header. It consists of a thick blue line on top and a thinner grey line directly beneath it, both spanning the width of the text above.

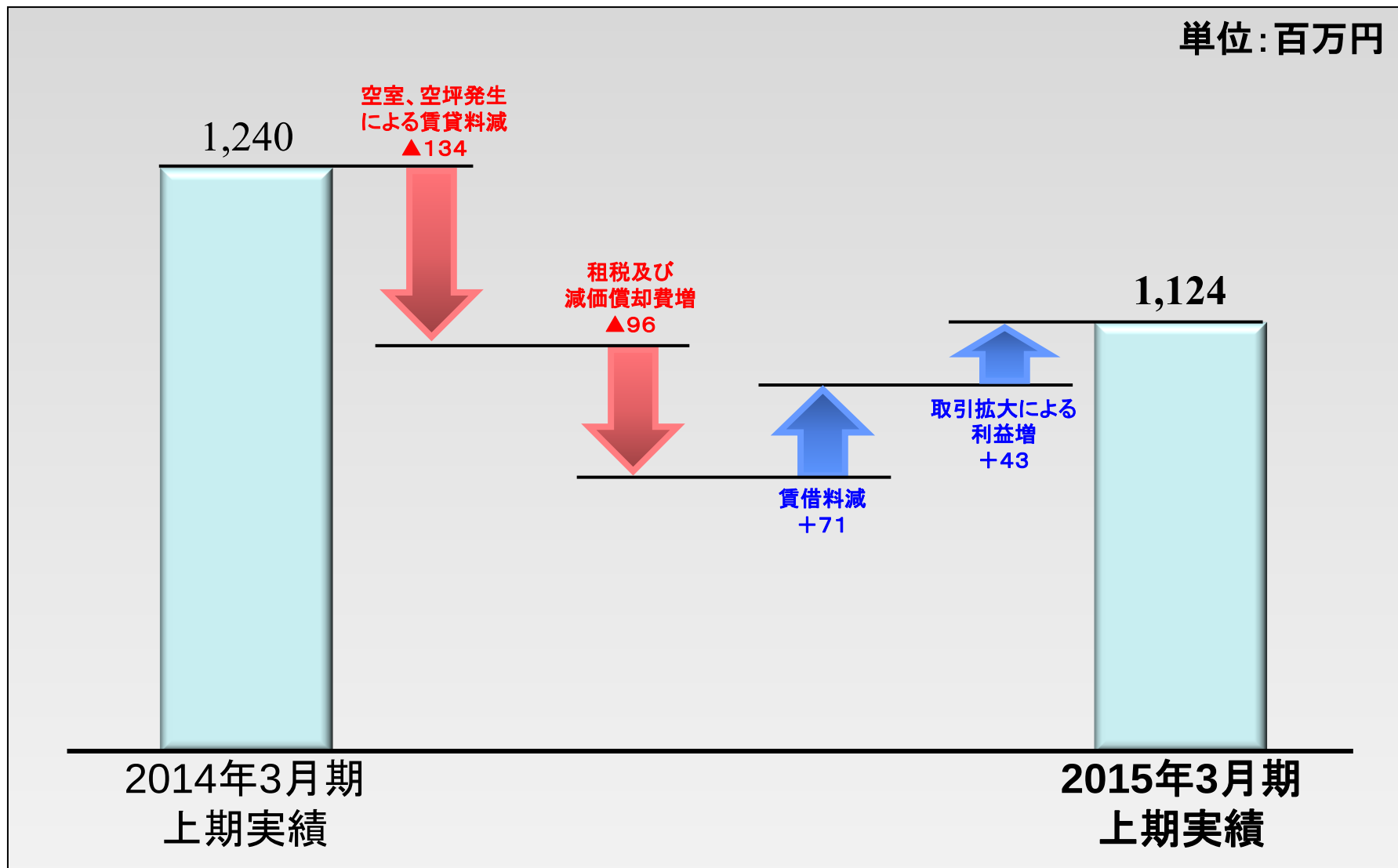
単位:百万円

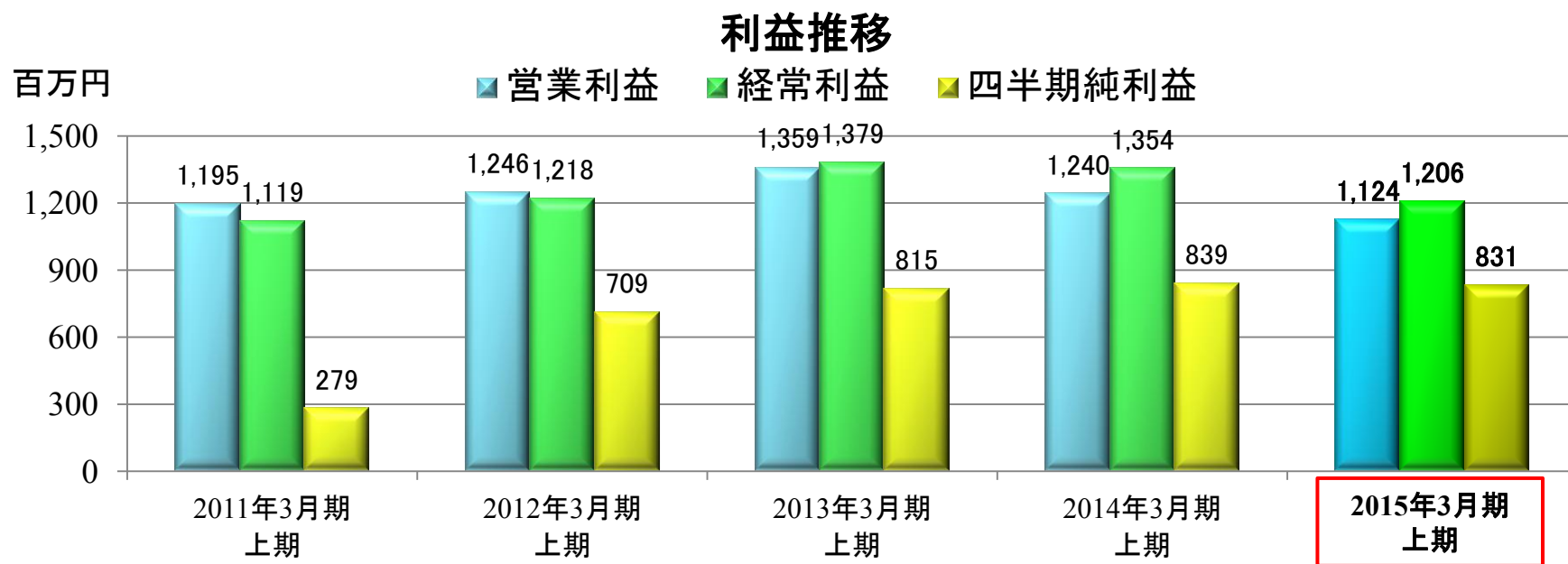
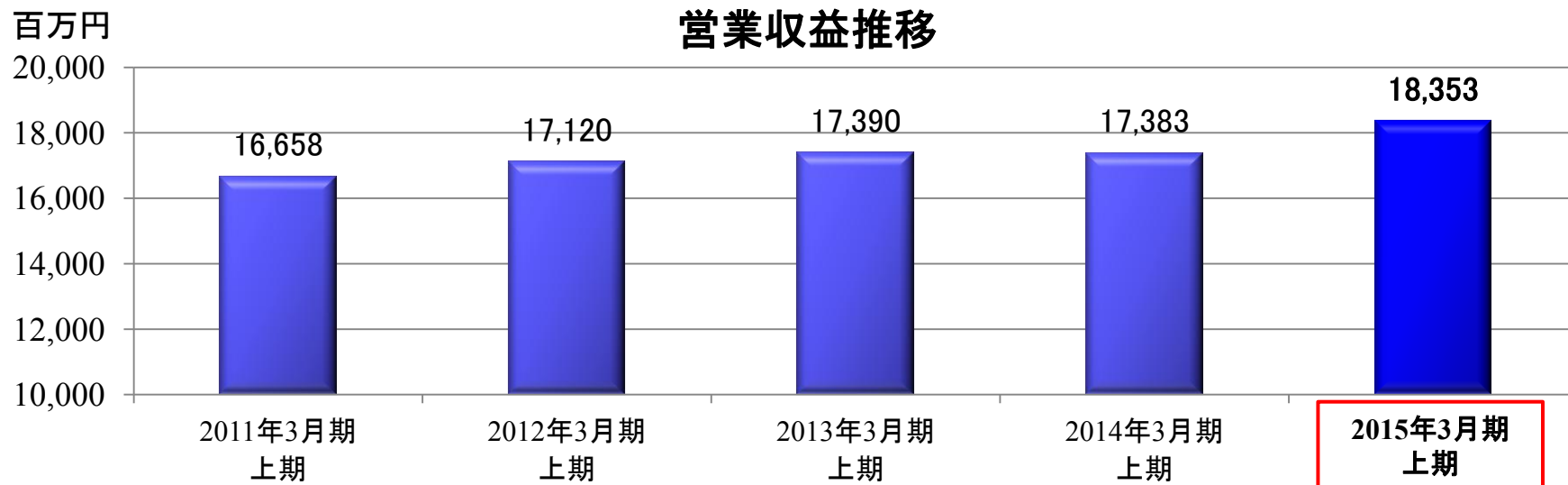
前年同期対比	連結		前年同期比	
	前期上期	今期上期	増減額	増減率
営業収益	17,383	18,353	970	5.6%
営業利益	1,240	1,124	▲115	▲9.3%
経常利益	1,354	1,206	▲148	▲11.0%
四半期純利益	839	831	▲8	▲1.0%
売上高営業利益率	7.1%	6.1%	▲1.0%	▲14.1%
四半期純利益／株(円)	27.67	27.39	▲0.28	▲1.0%

期初予想対比	連結		期初予想比	
	今期上期 期初予想	今期上期 実績	増減額	増減率
営業収益	18,100	18,353	253	1.4%
営業利益	1,000	1,124	124	12.4%
経常利益	1,100	1,206	106	9.6%
四半期純利益	700	831	131	18.7%



単位: 百万円

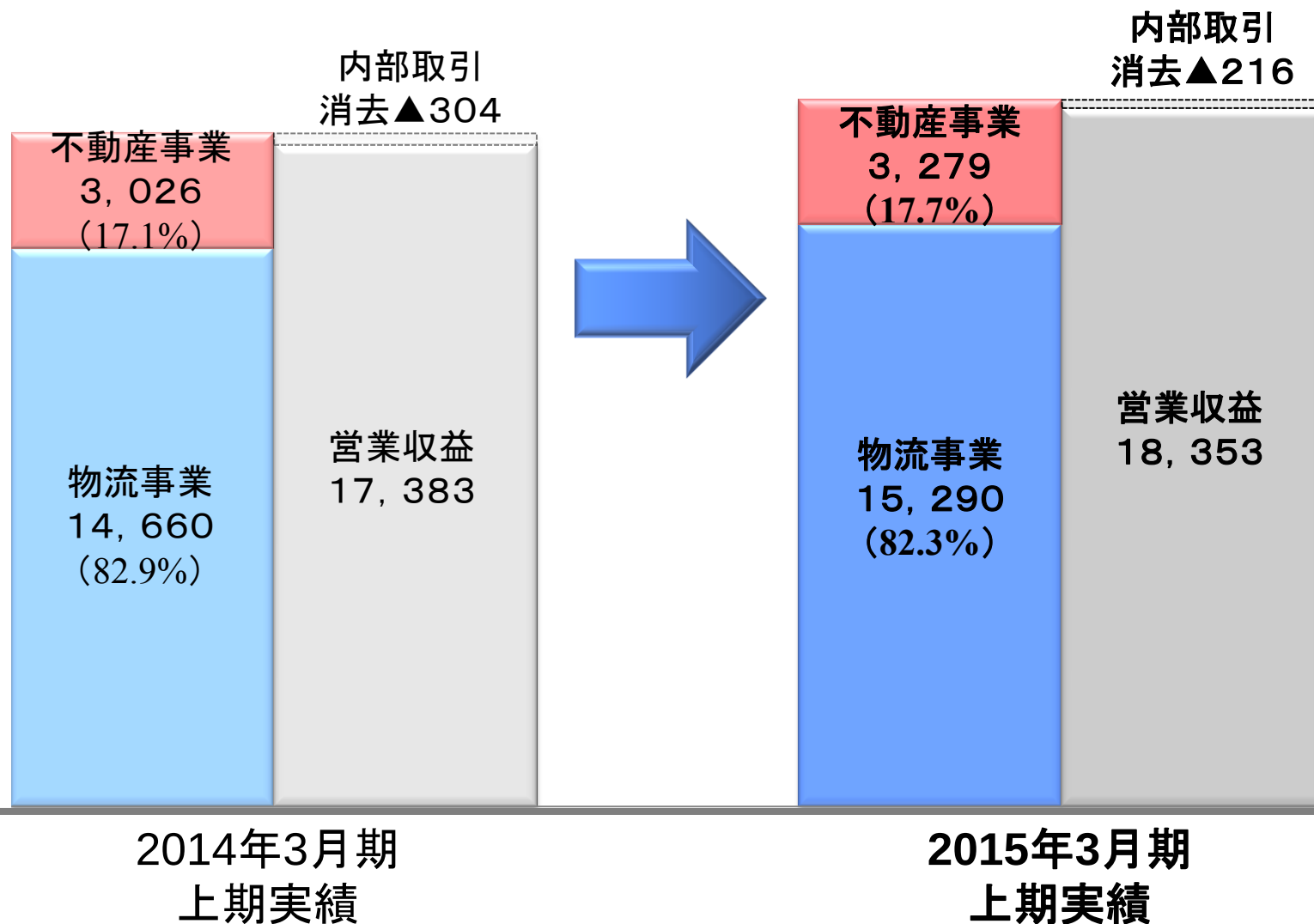




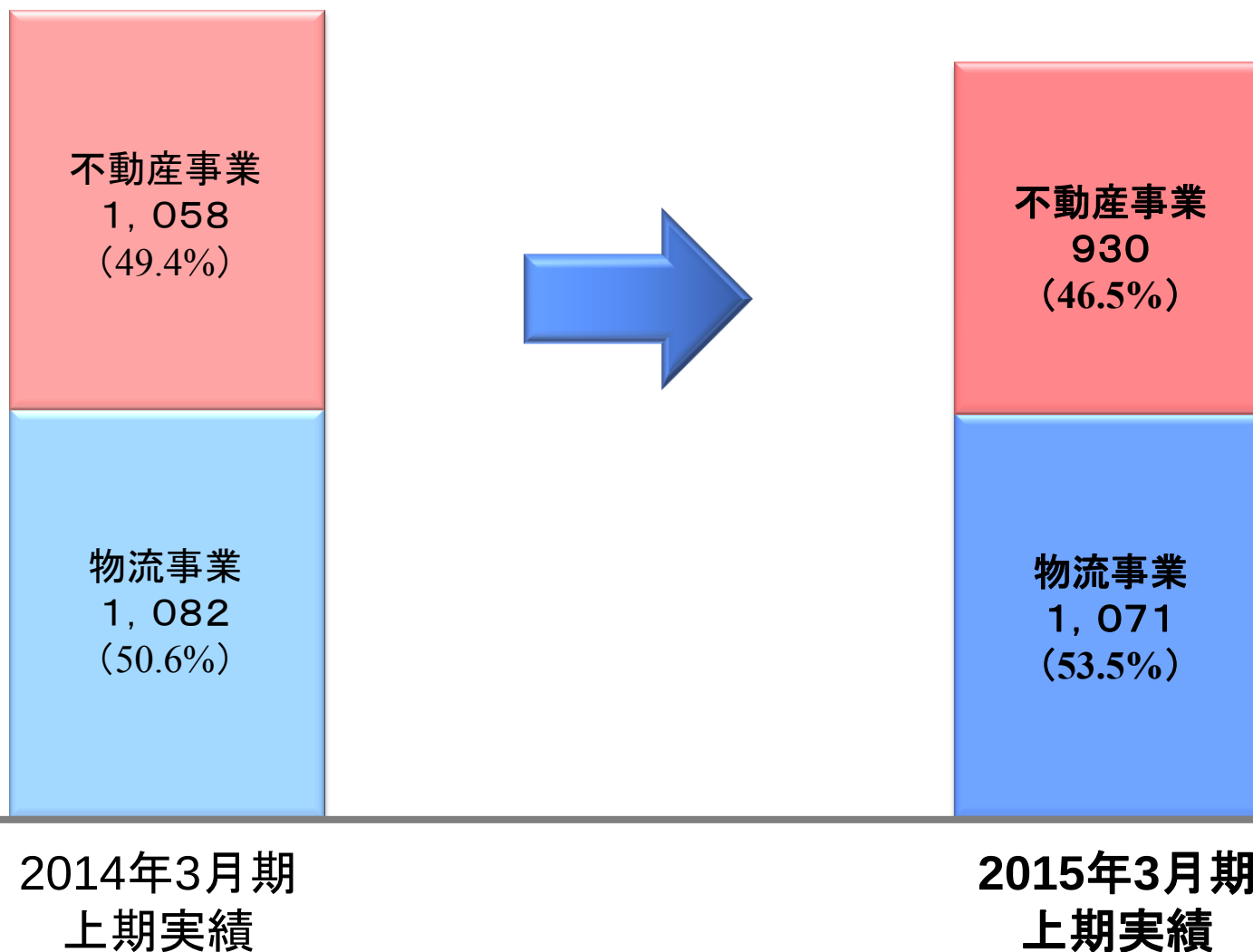
セグメント別営業収益



単位: 百万円



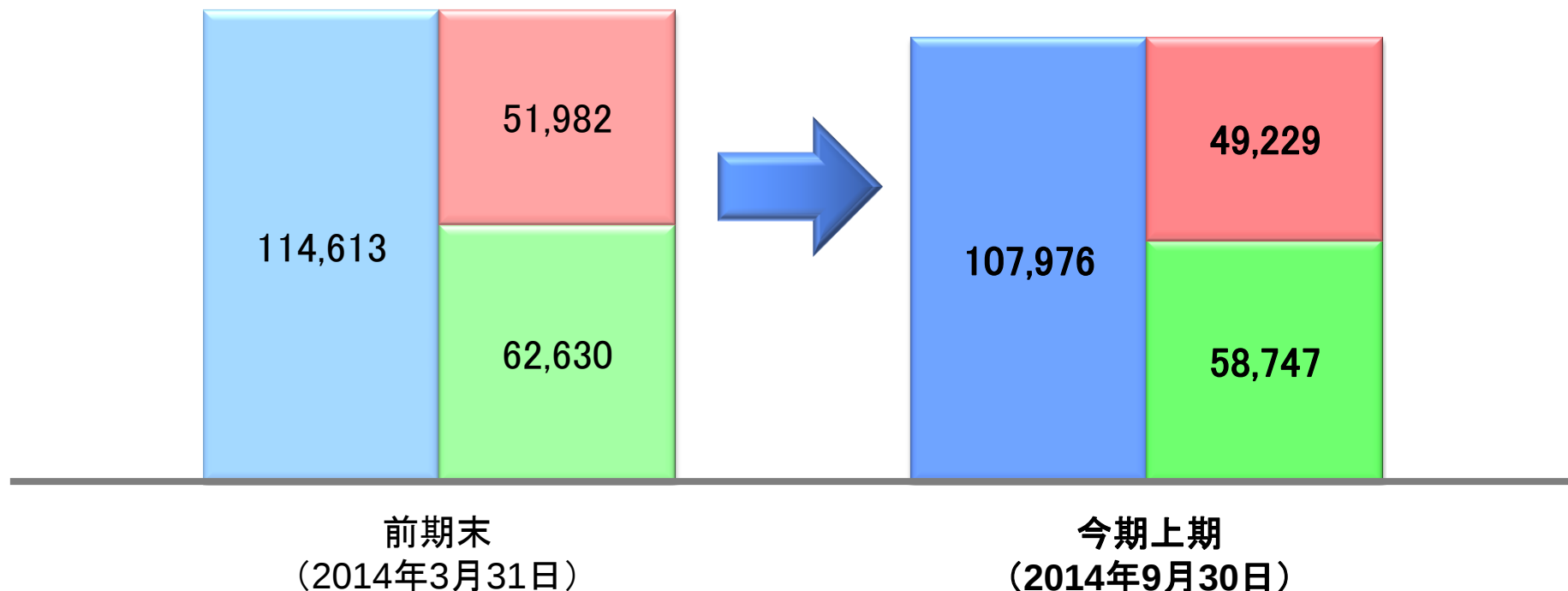
単位: 百万円



連結財政状態

■ 総資産 ■ 純資産 ■ 負債

単位：百万円



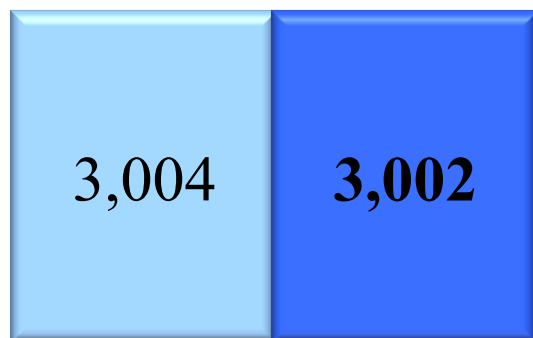
主な要因

- ◆ 総資産：投資有価証券の時価評価減少
- ◆ 負債：繰延税金負債の減少、長期借入金の減少
- ◆ 純資産：会計方針変更の影響による剰余金の減少
有価証券評価差額金の減少

単位：百万円

保管料

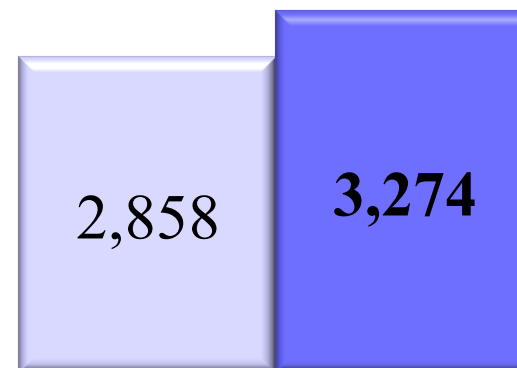
■ 前期上期 ■ 今期上期



既存施設の賃貸スペース化や料金改定の影響あるも、前期並みを維持

倉庫作業料

■ 前期上期 ■ 今期上期

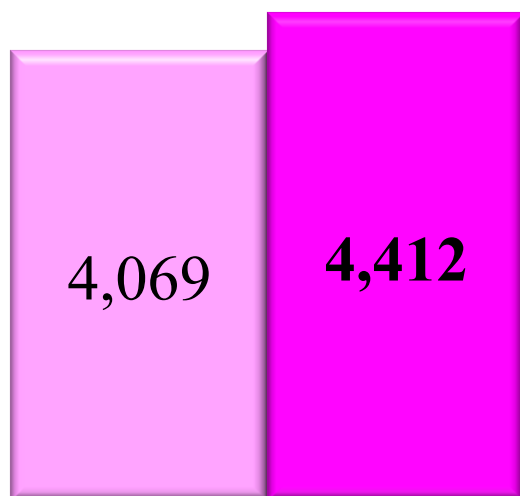


第一三共社をはじめとする新規業務の開始や既存業務の拡大、スポット貨物の取扱により前期比増収

単位：百万円

陸運料

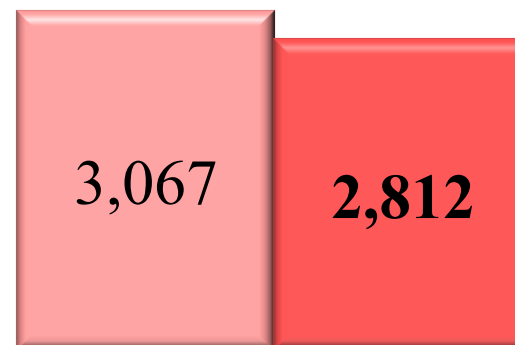
■ 前期上期 ■ 今期上期



第一三共社の配送受託やATM関連の取扱が堅調に推移したことにより前期比増収

国際貨物取扱料

■ 前期上期 ■ 今期上期



大型設備輸送減少の影響が大きく前期比減収

単位：百万円

物流賃貸料

■ 前期上期 ■ 今期上期

816

864

茨木営業所の稼働や賃貸スペースの増加などにより前期比増収

その他（物流）

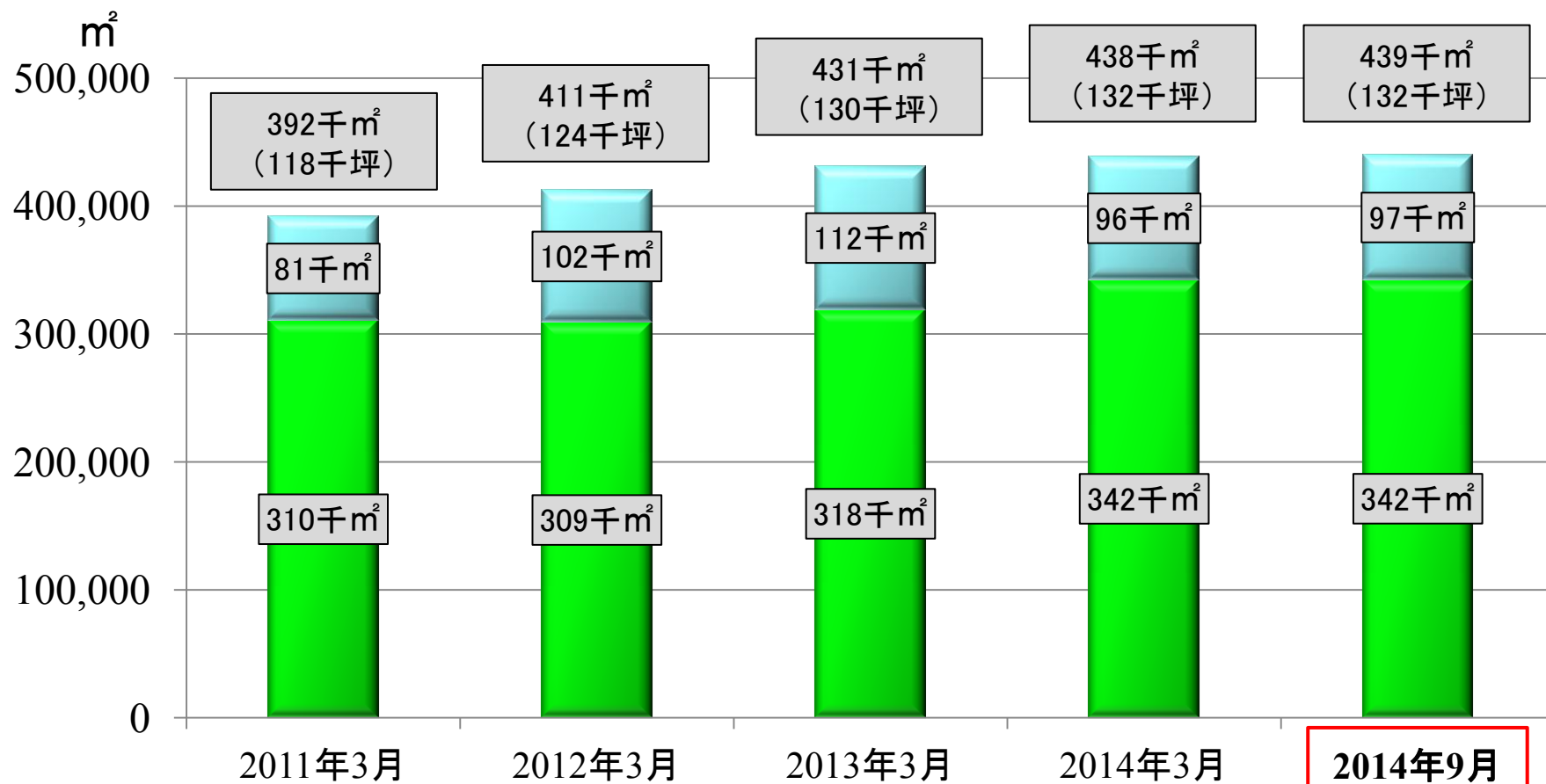
■ 前期上期 ■ 今期上期

833

917

第一三共社の取扱開始などにより前期比増収

■ 所有 ■ 賃借



メディカル分野拡大に向けた取組み

第一三共社の物流業務
受託開始(2014年4月)



医薬品専用トラック

新組織「ITキittingユニット」の設立



IT機器キitting



ATMキitting

1. 新規取引の開始

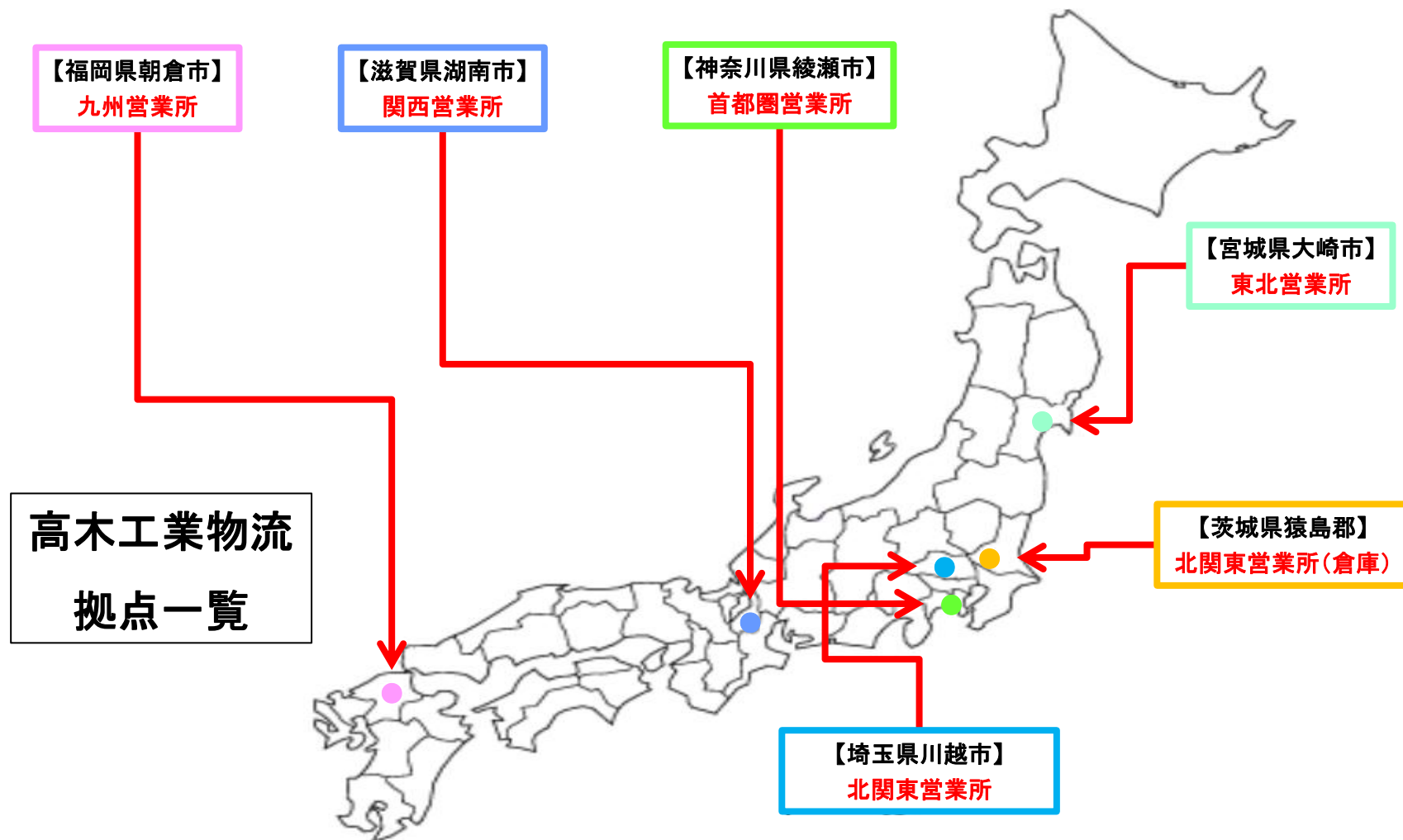
- | | | |
|------------------------------------|-----|---------|
| (1) 情報処理サービス業者への賃貸 | ... | 茨木営業所 |
| (2) ファッションブランドの保管
(コレクションアーカイブ) | ... | 加須第二営業所 |

2. 既存取引の拡大

- | | | |
|--------------------|-----|--------|
| (1) 分析装置などの保管／配送業務 | ... | 柏営業所 |
| (2) 太陽光パネルの保管／配送業務 | ... | 大阪営業所 |
| (3) 家電の保管／配送業務 | ... | 新山下営業所 |

.....など

高木工業物流株式会社の取得完了



高木工業物流株式会社の取得完了



高木工業物流(株)本社

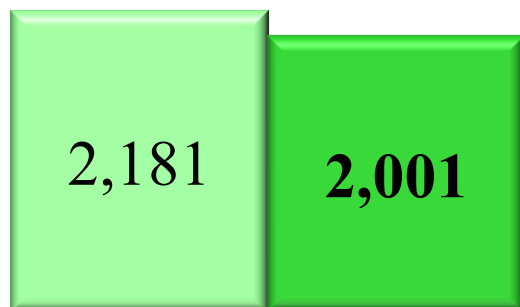


高木工業物流(株) トラック

単位:百万円

不動産賃貸料

■ 前期上期 ■ 今期上期



テナントの入れ替えによるフリーレントの発生や料金改定などにより前期比減収

その他(不動産)

■ 前期上期 ■ 今期上期



大型工事の受注などにより前期比増収

単位:百万円

	前期上期	今期上期	増減額	今期通期 (予想)
設備投資額	1,238	912	▲326	1,858
主な投資案件	・茨木営業所設備投資 ・賃貸ビル空調機更新			
減価償却費	1,024	1,100	76	2,284
期末借入金残高	23,972	23,749	▲223	23,000

3. 2015年3月期 通期の見通し

Below the section header, there are two horizontal bars. The top bar is blue and the bottom bar is gray. Both bars are slightly offset to the right.

単位:百万円

	前期	今期			前期比	
	通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
営業収益	35,237	18,353	20,046	38,400	3,162	9.0%
営業利益	2,382	1,124	1,325	2,450	67	2.8%
経常利益	2,544	1,206	1,443	2,650	105	4.1%
当期純利益	1,564	831	818	1,650	85	5.5%

◆通期業績予想は据え置き(平成26年10月1日公表)
 高木工業物流株式会社の連結子会社化、貨物取扱の拡大により
 前期比増収増益を目論む

- ◆医療分野の深耕拡大
- ◆キitting関連の業容拡大
- ◆高木工業物流(株)とのシナジーの実現
- ◆国際貨物取扱の拡大(大型設備輸送など)

<配当方針>

安定配当を基本としつつ、利益水準等を勘案して決定

2011年3月期	年間配当14円	(連結配当性向44.3%)
2012年3月期	年間配当14円	(同29.9%)
2013年3月期	年間配当14円	(同26.6%)
2014年3月期	年間配当14円	(同27.2%)
2015年3月期	配当水準維持予定	(同25.7%)



年間配当14円予定

(中間配当：7円、期末配当：7円)

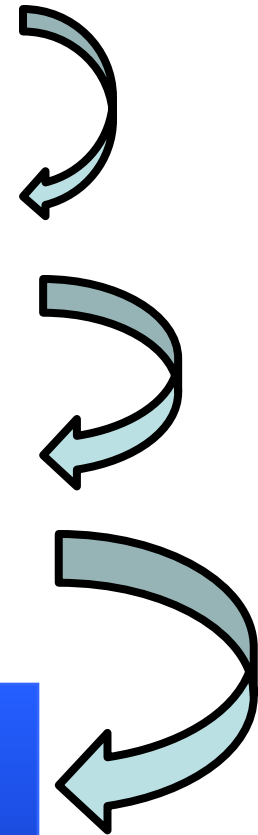
お客様を支える存在になる為に

「品質」と「生産性」の向上

お客様の潜在ニーズに
先回りして応える営業

ソリューション提案型企業

Cs STEP 2015
サプライチェーンを支える優れた
物流企業



YASDA



当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。